



# 涌小通信

知内町立涌元小学校  
〈学校教育目標〉  
よく考える子 思いやりのある子 健康な子

令和6年10月31日発行

〈めざす学校の姿〉『笑顔で幸せにあふれる学校』

〈重点教育目標〉『自分のために、みんなのために、幸せを創り出す』

## 全国学力・学習状況調査の結果より

教頭 伊藤孝之

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。6年生を対象に4月17日に実施されたものです。この結果でいちばん印象的なのは、児童質問紙の「その他の設問・回答が目立ってプラス傾向にある設問」からわかる「**涌小の6年生が人との関わりをととても大切にしている**」ということです。これは、本校の重点教育目標である「自分のために みんなのために 幸せを創り出す」の素地となる「思い」をもっているということです。これまで、いろいろな場面において6年生を中心とした児童同士や地域の方との関わりを大切にしたい取組を行い、子供たちはその関わり合いの中で喜びを感じ、成長してきました。これからの半年間も、6年生を中心とした全校児童、教職員、保護者、地域の方によって「幸せを創り出す」学校運営に努めてまいります。

### 1 教科に関する調査について 国語、算数、ともに本校の平均正答率は全国・全道平均を下回りました。

	全国平均を大きく上回っている内容	全道・全国平均を下回っている内容
国語	○情報の扱いに関する事項 ○書くこと	●話すこと・聞くこと ●読むこと
算数	○データの活用	●数と計算 ●変化と関係

### 2 児童質問紙について

	回答が目立って <b>プラス</b> 傾向にある設問	回答が目立って <b>マイナス</b> 傾向にある設問
学習に関わる設問	○国語の勉強は大切だと思う ○国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う ○国語の授業で、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか ○算数の勉強は大切だと思う ○算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	●算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずいろいろな方法を考える ●分からないことや詳しく知りたいことを、自分で学び方を考え工夫する ●5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んだ
その他の設問	○困っている人を進んで助けている ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う ○人の役に立つ人間になりたいと思う ○友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	●困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる

### 3 結果を受けて

- 内容によっては全国・全道の平均正答率を大きく上回り、しっかりと定着しています。
- 「勉強は大切で、将来役に立つ」という思いをもっています。
- 人との関わりをととても大切にしています。
- 平均正答率だけでなく、一人一人の結果に応じた学びが必要です。
- わからないことや知りたいことがあるときに、あきらめたり受け身になったりする傾向があります。
- 困った時などに気軽に相談することができていません。



#### 改善のために

- ①子供たちの主体的に学ぶ態度を育むことで、一人一人の課題となっている力の底上げを図るよう、今年度の研究主題を「主体的に学び続ける子」と設定し、授業改善に取り組んでいます。
  - ・子供たち自身が「知りたい」という気持ちを高め、自ら課題をもてる工夫をする
  - ・子供たちが教師と一緒に学習計画を立て、身に付ける力や学び方の見通しをもてるようにする
  - ・多様な考え方にふれる機会をつくる
- ②気軽に相談できる雰囲気作りと体制整備に加え、多様な相談方法を提供します。
  - ・学級の枠にとらわれず、教職員全員で全校児童を育む体制
  - ・スクールカウンセラーを活用した教育相談の実施
  - ・ICTの活用による相談窓口の紹介



多様な人との関わりを今後も大切にして、ふるさとを愛する心を地域と共に育てていきます。

## ◆◆閉校式・思い出を語る会◆◆

11月10日(日)の閉校式が迫ってきました。各方面の方のご協力をいただきながら準備を進めています。

先日は、涌元町内会顧問の藤谷利弘さんが来校し、ステージの横一文字を書いてくださいました。

子供たちも、「ふるさと発見プロジェクト」と題し、涌元について調べたことを「思い出を語る会」で発表しようといががんばっています。



## ◆◆マラソン大会◆◆

今年度のマラソン大会は、初めて涌元町内を子供たちが走りました。子供たちのがんばる姿に、地域の皆様から温かいご声援をいただき本当にありがとうございました。

学校で用意した旗にメッセージを書いたものや、箱根駅伝の応援で使った旗など、いろいろな応援グッズを持ち、沿道に出て大きな声で応援して下さったことで、子供たちは、諦めずに完走することができました。

走り終わった後、子供たちから「応援の声が聞こえたのがんばった。」「たくさん応援に来てくれてうれしかった。」という声が聞こえてきました。



## ◆◆11月の主な予定◆◆

1	金	立ち止まり訓練
6	水	ICT支援員授業支援
7	木	フッ化物洗口
8	金	スクール・ステージ・フェア 英検ESG(6年生)
10	日	閉校式 思い出を語る会
11	月	閉校式の振替休業日
14	木	フッ化物洗口
15	金	特別3時間授業・給食なし
19	火	5時間授業
20	水	6時間授業
21	木	フッ化物洗口 明和小とのリモート交流
24	日	子供会育成会イルミネーション設置
25	月	全校朝会
28	木	アーリーデイ(特別5時間授業) フッ化物洗口
29	金	スクールカウンセラー来校 立ち止まり訓練

※10月28日時点での予定です

涌元小学校ホームページ

<https://wakisho.shiriuchi.ed.jp>



## ◆◆木育教室◆◆

知内町役場林業振興係の方のご協力により、木育教室を行いました。木育は、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことを目的としています。上雷の町有林での杉の木の枝打ち体験を通し、森林を守ることの大切を知ることができました。

この仕事に就きたい!



この木はチクチクしないけど切りにくい!

こういう仕事もあるんだ!

## ◆◆学芸会◆◆

たくさんの方にご来校いただきありがとうございました。11名の子供たちは、「涌元小学校最後の学芸会を最高のものにしよう!」と、歌、合奏、ソーラン節、そして劇のすべてを全員で力を合わせがんばりました。

終わった後、観ていただいた方から「子供たち、みんながんばってたね。」「子供たちの姿を見て、元気になったよ。」などと声をかけていただきました。

子供たちも、「お客さんが笑顔だった。」「拍手をもらってうれしかった。」と、満足そうな笑顔でした。

マラソン大会や学芸会を通して、子供たちは、自分たちのがんばりが周りの人を笑顔にし、それが自分の喜びや笑顔に繋がるということを実感することができました。

